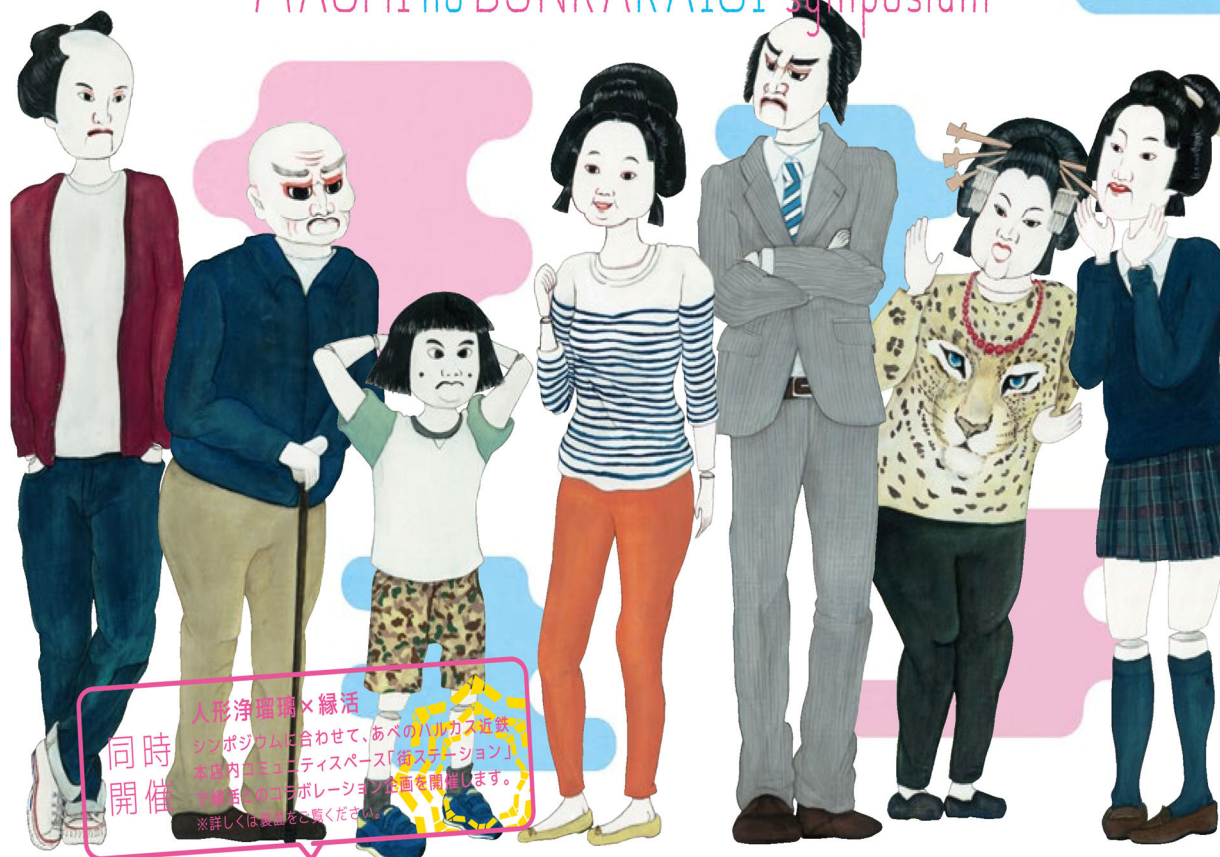


まちのブンカ会議 シンポジウム

MACHI no BUNKAKAIGI symposium



同時開催
人形浄瑠璃×緑活
シンポジウムに合わせて、あべの「ハルカス近鉄」
本館内のコミュニティスペース「街ステーション」
で緑活のワークショップなどを実施します。
※詳しくは要綱をご覧ください。

コミュニティにおけるまちのブンカの役割

日時 2015年2月22日(日)

開場13:30～開演14:00～(16:30終演予定)

会場 あべのハルカス25F 貸会議室

大阪市営地下鉄御堂筋線・谷町線天王寺駅/JR天王寺駅/近鉄南大阪線同部野橋駅より徒歩

笑うこと、話すこと、楽しむこと、愛すること。地域のブンカには、わたしたちが人と関わり合いながら生きる上で欠かせない大切なことがいっぱい。日本各地に生きるさまざまなブンカをテーマに、わたしたちのまちのブンカのこと、コミュニティにおけるブンカの役割とこれからについて、考えてみませんか。

浄瑠璃人形遣い



勘縁

同志社大学教授



佐々木 雅幸

映画監督



薦 哲一朗

コミュニティデザイナー



山崎 亮

まちのブンカ会議 シンポジウム

コミュニティにおけるまちのブンカの役割

日時 2015年2月22日(日) 会場 あべのハルカス25F 貴会議室
開場 13:30~ 開演 14:00~(16:30終演予定)
大阪市営地下鉄御堂筋線・台町線天王寺駅 / JR天王寺駅 / 近鉄南大阪線阿部野橋駅より徒歩

プログラム

- 14:00 主催者よりはじまりのごあいさつ
- 14:15 プログラムのご案内、パネリスト紹介
パネルディスカッション
テーマ1 丹生谷清流座の取り組み(徳島県)
テーマ2 鳥取の取り組み(鳥取県)
テーマ3 新たな取り組み
(ワークショップ「まちのブンカ会議」の報告)
- 15:45 意見交換・質疑応答
- 16:10 パネリストによるまとめ
- 16:25 閉会のごあいさつ
冊子制作のご案内、アンケートご記入

同時開催 人形浄瑠璃×緑活
シンポジウムに合わせて、あべのハルカス近鉄本店内コミュニティスペース「街ステーション」で緑活とのコラボレーション企画を開催します。

人形浄瑠璃の上演

徳島の人形座による人形浄瑠璃上演。
ピクニック書道(書道をテーマとしたプログラム)とのコラボレーション企画も。
〈場所〉7階「街ステーション」(日時)2月22日(日)12:00~(太夫・三味線)鶴澤友輔
(人形浄瑠璃)阿波人形浄瑠璃研究会青年座(演目)寿二人三番叟、生写朝顔話(抜粋)

ギャラリー展示

関西各地の人形浄瑠璃芝居を守る多くの方々を実際には訪ね、取材をしてきた内容をパネル展示します。
〈場所〉5階「緑活WALL GALLERY」(期間)2月19日(木)~24日(火)

緑活とは 市民活動団体・地域のみなさん・ボランティアと百貨店が一緒に、楽しくて、社会をちょっと良くする活動を行う百貨店の取り組みです。
詳しくは緑活ホームページ(<http://www.en-katsu.info>)をご覧ください。

わたしたちの暮らしに必要なブンカって何だろう?コミュニティにおけるブンカの役割って何だろう?関西広域連合は、関西「文化の道」事業を通して、平成24年から3年間、人形浄瑠璃にスポットを当て、関西文化の魅力発信・継承・発展に取り組んでいます。まちのブンカ会議シンポジウムでは、各地域の人形座の活動をふまえて、自分の暮らすまちのブンカ、これからのブンカの役割について、さまざまな視点から考えます。

勸緑(浄瑠璃人形遣い)

人形浄瑠璃の普及・発展と文案人形の新しい可能性を求めて、平成24年1月、33年間に在籍した文案座を辞しフリーの人形遣いに。主宰する「木偶舎」での公演活動のほか、全国各地の人形芝居の指導・演出や、徳島県の農村舞台復活にも積極的に取り組んでいる。平成20年4月から人形浄瑠璃とくしま座芸術監督。平成21年徳島新聞文化賞受賞。

佐々木 雅幸(同志社大学特別客員教授)

文化庁文化芸術創造都市振興室長、創造都市ネットワーク日本の顧問。2008年度から2010年度まで文化経済学会(日本)会長、2010年に国際学術雑誌City,Culture&Society(Elsevierから刊行)を発刊し、5年間編集長を務めた。主著に『創造都市の経済学』、『創造都市への挑戦』、編著に『創造農村』、『創造都市への展望』など。

薦 哲一朗(映画監督)

祖父は池田高校野球部の元監督・薦文也。2007年製作「夢の島」で第31回びわこ映画フェスティバル観客賞を受賞、国内外から高い評価を得る。2013年に地元、徳島の祖谷地方を舞台にした「祖谷物語-おくのひと-」を発表。東京国際映画祭をはじめ、トロムソ国際映画祭で日本人初となるグランプリを受賞。多くの映画祭に出品され話題となる。

山崎 亮(studio-L代表)

東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科教授。京都造形芸術大学空間演出デザイン学科教授。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、建築やランドスケープのデザイン、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。



シンポジウム参加方法(申込締切)2015年2月17日(火)

お電話またはメール、Facebook公式ページよりメッセージにて必要事項を明記の上、お申し込みください。

必要事項:①お名前②ご連絡先(メールアドレスor電話番号)③ご職業(担当:株式会社studio-L 担当:神庭・林)



TEL

06-6155-5018



MAIL

MachiBunka@studio-L.org



Facebook「まちのブンカ会議」

<http://facebook.com/MachiBunka>



平成26年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化資産を活かした地域活性化事業)

主催 関西広域連合「文化の道」実行委員会

お問い合わせ先:株式会社studio-L(担当:神庭・林) MAIL:MachiBunka@studio-L.org

Facebook「まちのブンカ会議」<http://facebook.com/MachiBunka/> TEL:06-6155-5018

MACHI no BUNKAKAIGI symposium